

技術番号 **573** ブース番号 **A-56**

建設副産物・発生土情報交換システム

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **573** ブース番号 **A-56**

JACIC (一般財団法人日本建設情報総合センター)



建設リサイクルの推進と事務の効率化を支援するシステム

建設副産物や建設発生土の情報を、インターネット技術を用いて情報交換するシステムです。両システムともデータの一元管理により、リアルタイムでデータの入出力や情報交換が可能であり、建設リサイクルに関する各種書類作成作業の省力化を図ることもできます。

また、視認性を高めるため工事箇所、処理施設等の位置情報をデジタル地図上に表示する機能も有しており、地図画面からこれらを検索することも可能です。

【施工実績】H26年度 東北地方におけるシステム利用者数(H27年1月末現在)発注機関(国、自治体等)26、排出事業者(施工業者、解体業者)1,204、処理業者163

●部署/JACIC 建設副産物情報センター
●URL/http://www.recycle.jacic.or.jp

●TEL/03-3505-0416 ●FAX/03-3505-0520
●営業時間/9:30-17:30

担当者:石塚廣史、赤羽善和

技術番号 **574** ブース番号 **B-13**

災害廃棄物・不法投棄廃棄物の分別・リサイクル技術

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **574** ブース番号 **B-13**

株式会社 鴻池組



災害廃棄物や不法投棄廃棄物を、安全・確実に分別するシステムをトータルで提供します。

地震や水害、土砂災害などで発生する災害廃棄物や工事現場で遭遇する不法投棄廃棄物は、様々な種類の廃棄物が土砂に混合した状態となっています。鴻池組では、廃棄物と土砂を高精度に分別できて、pHが中性で環境にやさしい高分子改質剤・フリンウォーター(NETIS登録技術)や、長期安定性に優れ自然由来重金属などに高い不溶化効果を発揮するマグネシウム系固化材などの改良材を用いるとともに、破碎・分別・混合のための設備を適切に組み合わせたトータルシステムにより、設計から施工まで一貫したサポート体制で、廃棄物と土砂の分別・リサイクル技術を提供します。

【施工実績】多賀城市東日本大震災に係る災害廃棄物中間処理業務
青森・岩手県境不法投棄原状回復

●部署/土木事業本部 環境エンジニアリング部
●URL/http://www.konoike.co.jp/

●TEL/03-5617-7793 ●FAX/03-5617-7788
●営業時間/8:45-17:45

担当者:大山 将

技術番号 **575** ブース番号 **B-21**

アッシュクリートTypeII

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **575** ブース番号 **B-21**

安藤ハザマ



アッシュクリートTypeII - 復興盛土工事への適用 -

石炭火力から産出される石炭灰を大量に有効利用し、すでに36万m³(石炭灰48万t)の施工実績があるアッシュクリートTypeIIは、震災で沈下した地域の高上げや防潮堤の盛土材料としても使用することができる技術です。福島県相馬郡新地町に立地する相馬共同火力発電株式会社新地発電所より発生した石炭灰を活用して、福島県沿岸部の復旧・復興工事に対しこの技術の活用により石炭灰を土木資材へ製品化、枯渇する天然資材の使用量低減による環境保全にも寄与しつつ、資材の地産地消による復興貢献に取り組んでいます。

【施工実績】福島県 都市公園(復興交(防))工事

●部署/技術本部 技術研究所 土木研究部
●URL/http://www.ad-hzm.co.jp/

●TEL/029-858-8813 ●FAX/029-858-8819
●営業時間/8:30-17:15

担当者:坂本 守

技術番号 **576** ブース番号 **C-46**

重金属汚染対策材 「マジカルフィックス」

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **576** ブース番号 **C-46**

住友大阪セメントグループ 住友大阪セメント株式会社



重金属イオンの難溶化による化学的吸着と細孔への物理的吸着のW効果により汚染土壌中重金属等の長期安定化を実現!

マジカルフィックスは、独自のカルシウム/マグネシウム系で従来の不溶化材料と比べ、低pHかつ長期的に安定するという特徴があり、酸・アルカリ条件下においても不溶化効果を持続します。具体的には、優れた物理的吸着能力・化学的吸着能力・長期安定性・pH緩衝能・改質性能を有しております。

【施工実績】宮城県石巻市 津波堆積物 約115,000m³

●部署/住友大阪セメント株式会社 東北支店 建材グループ
●URL/http://heavymetals-fuyouka.com/

●TEL/022-225-5251 ●FAX/022-266-2516
●営業時間/9:00-17:45

担当者:大場、石川、石井

建設副産物・リサイクル等



環境に配慮し、材料にリサイクルプラスチックを使用した、軽くて錆びないエコ製品です

従来のハンドホール製品に比べ安価で軽量の為、人力で手軽に持ち運べ、ダクトの穴あけ等の加工を現場で容易に施工可能です。また、強度・耐久性にも優れ自消する難燃性で、リサイクルプラスチックの性質を生かした防錆・防食にも優れ、連結してケーブルダクトとしても使用できます。工事費の削減にも最適です。また、エコマーク対象製品に認定された製品です。

【施工実績】岩手県北上市和賀町山口 秋田自動車道 北上西IC
岩手県奥州市水沢区佐倉河 東北自動車道 水沢IC
山形県南陽市川樋 中川トンネル

●部署/経営企画部 技術営業課 ●TEL/03-5339-1717 ●FAX/03-5339-1739 担当者:小林 浩、小山 靖二
●URL/http://www.c-nexco-het.jp ●営業時間/9:00-17:25



廃プラスチックを利用した、安価で軽量、強く燃えにくく、防錆・防食の用途にも優れた樹脂蓋です

従来の鋼板製や鋳鉄製のハンドホール蓋は重く錆びやすく、蓋の開放に相当の付加が掛かっていました。本製品は、リサイクル樹脂材料の採用で環境にやさしい製品です。また軽量で錆びない上、強度があります。難燃性にも優れ有毒ガスも発生しません。セキュリティを考慮した鍵付蓋や、固定ビス付蓋もあります。降雪地域に向け、融雪機能付き樹脂蓋もあります。

●部署/経営企画部 技術営業課 ●TEL/03-5339-1717 ●FAX/03-5339-1739 担当者:小林 浩
●URL/http://www.c-nexco-het.jp ●営業時間/9:00-17:25



建設汚泥を再資源化した「ユニ・ソイル」を使った防草材としての活用と、物性に優れた材料としての様々な利用方法

- ・造粒固化処理により、建設現場などから排出される建設汚泥(無機性汚泥)から再生したリサイクル製品の名称です。自然材に比べ安価で、性能に優れ、盛土材、路床材、埋め戻し材、防草材としてご活用頂け、再資源化、グリーン購入法への対応の一助となります。
- ・無機性建設汚泥をリサイクルしたユニ・ソイルを工事に使用することにより、現在、発注者に求められる廃棄物の発生抑制、再生利用を考慮した設計に努めることが可能になるとともに、品質の向上に寄与することが可能となります。また、施工業者はユニ・ソイルを工事に使用することにより、グリーン購入法への対応や、環境保全にお役立て頂くことが可能です。
- ・現在、この優れた物性が着目され東日本大震災の復興支援にお役立て頂いております。

【施工実績】国土交通省東北地方整備局、東日本復興支援 他

●部署/株式会社アイシン、アイレック新潟株式会社(企画開発部)、日本リサイクル工業協同組合 ●TEL/025-544-6381 ●FAX/025-544-7381 担当者:岩淵 武史
●URL/http://k-aisin.co.jp/ ●営業時間/8:00-17:30



繊維質物質を用いた高含水比泥土リサイクル技術

従来、盛土としての使用が不適とされてきた泥土に、繊維質系泥土改良材「ボンファイバー」と固化材を投入・攪拌することにより、取扱い性の向上(ハンドリング)、高耐久性および地震対策等の機能を付加して、これらを積極的に地盤材料に再資源化する工法です。生成された改良土は、河川やため池等の堤体盛土、路体盛土、宅地や高上げ等の造成盛土に再利用できます。本工法は東北大学大学院環境科学研究科 教授 高橋弘氏が中心となって研究開発した泥土リサイクル技術です。

【施工実績】・鳴瀬川大谷地地盤対策工事:国土交通省東北地方整備局北上下流河川事務所
・浜尾地区築堤工事:国土交通省東北地方整備局福島工事事務所
・仙台東部共同溝工事:国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
・大石田地区消流雪揚水機場工事:国土交通省東北地方整備局新庄工事事務所

●部署/ボンテラン工法研究会 事務局 ●TEL/0233-32-0022 ●FAX/0233-22-0932 担当者:柴田 聡
●URL/http://bonterrain.jp/ ●営業時間/9:00-18:00

建設副産物・リサイクル等

東亜建設工業株式会社



「ソイルセパレータ・マルチ工法」とは、浚渫土砂の減容化およびリサイクルを目的に開発した工法です。

東日本大震災による津波で大量に発生した土砂は、ごみやがれきが混入した津波堆積物と呼ばれ、この津波堆積物の処理・処分の遅れが、被災地の復旧・復興の妨げの要因のひとつとなっていました。そこで、当社は「ソイルセパレータ・マルチ工法」を応用し、津波堆積土から数mm程度の細かいがれき、ごみを分別・除去し、さらに土砂部分を分級して粘土分を極力除去することで廃棄物を取り除くリサイクル技術を確立しました。この技術は、2013年7月に第15回国土技術開発賞(主催:一般財団法人国土技術研究センター・一般財団法人沿岸技術研究センター、後援:国土交通省)において「最優秀賞」を受賞しました。

●部署/東亜建設工業株式会社 東北支店土木部 ●TEL/022-262-6513 ●FAX/022-261-1338 担当者: 藤沢博徳
●URL/http://www.toa-const.co.jp ●営業時間/9:00-17:30

一般社団法人 泥土リサイクル協会



災害復興事業における分別土砂の有効利用提案

東日本大震災においては、約3000万トンにもものぼる処理すべき材料のうち重量で3分の1以上を分別土砂が占めています。一方、被災地では復興に関わる多くの社会基盤整備事業が進められており、相当量の土砂が必要とされています。同時に、復興事業からの掘削発生土も相当量となることを見込まれ、その有効利用も重要課題となっています。このような土砂の需要と供給を踏まえつつ適切な資材アロケーションの方向性を提示することは、東日本大震災からの復旧・復興に貢献するのももちろんのこと、発生が避けられないであろう南海トラフ地震など他の災害への対応にも寄与しうる知見を与えるものであります。

【施工実績】仙台地下鉄築造工事から発生した建設汚泥処理
原防耐震補強工事に伴う排泥処理

●部署/一般社団法人 泥土リサイクル協会 事務局 ●TEL/0587-23-2713 ●FAX/0587-23-2734 担当者: 野口 真一
●URL/http://www.deido-recycling.jp ●営業時間/8:30-17:00

一般社団法人 泥土リサイクル協会



建設発生土を最大限、環境負荷の少ない方式でリサイクルするシステムを提案

県内の工事現場から出る建設発生土の約3割は残土として山林などに埋立てられ、自然体系が破壊されております。又埋め戻しや盛土材として必要に応じ天然資源である山砂を採掘し、購入土として大量消費されているのが現状です。一方発生土は工事間で工期や土質条件が合わないなどの理由から、県内各地のストックヤード(公的管理地又は民間施設)に一次仮置き保管されています。そこで協同組合では、工事間での利用時期の調整を行い、必要に応じて土質改良機を使用して現場条件が合致するよう含水比低減や粒度調整を行うことで、土砂が必要な他現場への供給を実現し、「宮城県内の建設発生土リサイクル100%」を目指しています。

●部署/一般社団法人 泥土リサイクル協会 ●TEL/0587-23-2713 ●FAX/0587-23-2734 担当者: 野口 真一
●URL/http://www.deido-recycling.jp ●営業時間/8:30-17:00

一般社団法人 泥土リサイクル協会



未利用資源(石炭灰、製紙スラッジ焼却灰、製鋼スラグ)の有効利用

未利用資源のうち、石炭灰や製紙スラッジ焼却灰、製鋼スラグ類の一部にはポズラン反応による固化・強度発現効果などが期待できるものがあります。また、粒度の悪い循環資材に未利用資源を混合することにより、混合材料の粒度調整をはかることも可能であります。未利用資源を選定する場合は、発生場所や循環資材との混合による効果を総合的に考慮して行うことが望ましく、本出展においては、復興資材と未利用資源を混合した盛土実証試験の事例を紹介しています。

●部署/一般社団法人 泥土リサイクル協会 ●TEL/0587-23-2713 ●FAX/0587-23-2734 担当者: 野口 真一
●URL/http://www.deido-recycling.jp ●営業時間/8:30-17:00

建設副産物・リサイクル等

技術番号
585 D-04

環境にやさしい石膏系中性固化材「エコハード」

建設副産物・リサイクル等

技術番号
585 D-04



チヨダウーテ株式会社

建設汚泥などを有用な資源に変える石膏を原料とする新しい中性固化材



主な特徴

- ① 泥土に混ぜると直ちに反応が始まり、短時間で泥土を固化します。
- ② 泥土を粒状化、適度の保水性、透水性を与え、リサイクルに適する土壌に改質します。
- ③ 原泥の持っていた植生を阻害することなく、処理土は固化と粒状化によって植生に適した土壌に改質されます。
- ④ 基本的に魚毒性はありません。
- ⑤ 高含水泥土、有機質泥土に対しても一定の効果があります。

【施工実績】平成19年 宮城県大崎市 工場跡地浄化工事
平成25年 宮城県気仙沼市 災害廃棄物処理業務(気仙沼ブロック)

●部署/環境事業本部
●URL/http://www.ecohard.jp

●TEL/059-361-4976 ●FAX/059-363-7311
●営業時間/8:30-17:00

担当者: 前田、伊藤、中野、藤田

技術番号
586 D-04

高性能フッ素不溶化剤「Fクレスト及びFクレストライト」

建設副産物・リサイクル等

技術番号
586 D-04



チヨダウーテ株式会社

フッ素化合物を短期間・高効率にフッ素アパタイトとして固定・不溶化!



Fクレストは、フッ素との反応性が高く、少量の添加量で高い不溶化能力を発揮します。一方、Fクレストライトは、フッ素との反応性を阻害する物質を多く含む汚染土壌や工場ガスト等をターゲットに開発したフッ素不溶化剤です。

不溶化のメカニズム

虫歯予防のために歯にフッ素を塗布するプロセスからヒントを得た「バイオミネティックナノ表面反応」で、環境中の低濃度フッ素化合物を難溶性のリン酸カルシウム塩(フッ素アパタイト)として固定・不溶化するものです。

Fクレストは、日本をはじめ、米国、ヨーロッパ、韓国、中国において特許を取得しています。

【施工実績】平成24年 山形県 廃石膏粉のフッ素不溶化剤として使用

●部署/環境事業本部
●URL/http://www.ecohard.jp

●TEL/059-361-4976 ●FAX/059-363-7311
●営業時間/8:30-17:00

担当者: 前田、中野、藤田

技術番号
587 D-04

リサイクル資源を活用したエコ固化材「エコテクノソイルシリーズ」

建設副産物・リサイクル等

技術番号
587 D-04



チヨダウーテ株式会社

固化材の原料の一部にリサイクル資源を活用、循環型社会に適應した固化材



テクノソイル・エコソイル固化材は、建設現場から発生する泥土、軟弱土等の改良(安定処理)を従来工法で可能とし、必要な建設資材に生まれかえることが出来ます。

テクノソイルとは、

石灰とリサイクル資源を複合し、重金属類の溶出量を土壤環境基準以下に抑えた自然環境に優しい固化材です。

エコソイルとは、

セメントとリサイクル資源を複合し、6価クロムの溶出量を低く抑えた(6価クロム対応型相当品)の固化材です。

●部署/環境事業本部
●URL/http://www.ecohard.jp

●TEL/059-361-4976 ●FAX/059-363-7311
●営業時間/8:30-17:00

担当者: 前田、中野、藤田

技術番号
588 D-05

堆積廃棄物の斜面安定性評価方法と廃棄物地盤の活用

建設副産物・リサイクル等

技術番号
588 D-05

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

不法投棄等現場の堆積廃棄物の斜面安定性評価方法、及びプラスチック等を含む廃棄物地盤の特性と活用方法



産業廃棄物不法投棄等のうち堆積廃棄物の斜面崩壊の危険がある現場を対象に、評価方法が確立していない堆積廃棄物の斜面安定性評価方法について研究・開発した。研究成果として「不法投棄等現場の堆積廃棄物の斜面安定性評価マニュアル(案)」(2013年12月)を作成し、自治体等で低コストの斜面安定対策等のために活用して頂いている。また、研究内容は「不法投棄現場等の堆積廃棄物の斜面安定性評価方法(大成出版社)」として刊行した。同研究によりプラスチック等が混入した廃棄物地盤が高い斜面安定性を有することを把握できたことから、廃棄物地盤の支持力特性や有効利用方法(例えば風力発電設備設置等)について研究を行っている。

●部署/公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団
●URL/http://www.sanpainet.or.jp

適正処理・不法投棄対策部 ●TEL/03-3526-0155 ●FAX/03-3526-0156
●営業時間/9:30-17:30

担当者: 山脇 敦

建設副産物・リサイクル等

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団



建設系廃棄物の不法投棄の発生要因に関する考察、及び産業廃棄物・汚染土壌排出管理者講習会の実施

産業廃棄物の不法投棄は近年減少しているものの、建設系廃棄物が約80%を占めている。不法投棄の発生要因や対策のあり方を探るため、小規模業者等の建設現場従事者を対象に、法制度の認知状況や廃棄物の取り扱い状況に関するアンケート調査を行った結果、小規模建設業者の現場従事者に廃棄物処理法等の廃棄物の取り扱いに関する情報がほとんど伝わっていないことや、法制度を知らない中で不適切な処理が行われている状況にあることが分かった。そのような状況を受けて、小規模建設業者向けの「産業廃棄物・汚染土壌排出管理者講習会」(平成26年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞)を継続的に開催している。

【施工実績】(産業廃棄物・汚染土壌排出管理者講習会の東北地方での開催実績)

- 青森県青森市内(平成25年5月12日)
- 山形県尾花沢市内(平成25年5月25日)
- 青森県むつ市内(平成27年1月14日)

●部署 / 公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 適正処理・不法投棄対策部 ●TEL / 03-3526-0155 ●FAX / 03-3526-0156 ●URL / http://www.sanpainet.or.jp ●営業時間 / 9:30-17:30 担当者: 山脇 敦、片山 和俊

ユナイテッド計画株式会社



木質バイオマス発電施設に供給される原木チップの水分量をボイラー設計要求水分量に調整する技術

再生可能エネルギー向け木質バイオマス発電施設の燃料として、主に秋田杉を中心とした原木を燃料用チップにして供給する計画を立案。この燃料チップを製造する施設から搬入される原木チップの水分量が50%程度で搬入される予定である。発電施設の計画発電電力を維持するのにボイラーの設計要求水分量を35%程度に調整する必要があり、水分調整のための乾燥機を設置する。乾燥するために必要な熱エネルギーを建設廃木材の熱量を利用しておこなう技術である。

●部署 / 新エネルギー環境事業部 ●TEL / 018-864-0668 ●FAX / 018-864-0680 ●URL / http://united-k.jp ●営業時間 / 8:00-17:00 担当者: 高橋敏彦

ユナイテッド計画株式会社



建設解体副産物のコンクリート塊及び廃木材を破砕して再利用する資源化技術

建設、解体等で発生するコンクリート塊をクラッシャー設備で破砕し、RC40を製造することで、道路の下層路盤材として再利用する材料を製造し、建設廃木材をシュレッダーで破砕して木材乾燥設備の燃料として利用できる材料を製造する技術である。

●部署 / 新エネルギー環境事業部 ●TEL / 018-864-0668 ●FAX / 018-864-0680 ●URL / http://united-k.jp ●営業時間 / 8:00-17:00 担当者: 高橋敏彦

ユナイテッド計画株式会社



廃石膏ボードの粉末を回収して高含水の建設汚泥に添加し、水分調整して再生利用する技術

建設・解体副産物の廃石膏ボードの紙分離装置により、石膏ボードの3mmアンダーの粉末を高含水率建設汚泥へ混練することで、セメント系固化材の添加量を抑えることにより、再生土の塩基度を緩和する効果と製造原価を抑える効果が得られる技術である。

●部署 / 新エネルギー環境事業部 ●TEL / 018-864-0668 ●FAX / 018-864-0680 ●URL / http://united-k.jp ●営業時間 / 8:00-17:00 担当者: 高橋敏彦



コンクリート建設廃材を循環型建設資材にする「型枠リユースシステム」

本システムの主旨は、使用済型枠を回収し再加工、再使用、再利用するというもので、型枠の3R+1R、ゼロエミッションに貢献し、産業廃棄物の低減に寄与するものです。仕様は、合成樹脂中空板に耐水性板紙を貼り、表面を合成樹脂フィルムでラミネートしています。それを使用する形状にカットし、栈木を付けて型枠パネルとし現場へ納入します。その為製作人員・時間、トータルコストが削減されます。また芯材が中空板の為、断熱効果も期待できます。剥離剤、ケレンも不要で、打設面は光沢のある仕上がりになります。お問い合わせは、ecopro@chodai.co.jpまでお願いします。

【施工実績】(青森県)六戸大橋床版工事、大沢橋床版工事、岩木川橋床版工事、小曲こ線橋床版工事、(秋田県)摩当川橋床版工事、中小又沢こ道橋工事、藤株こ道橋上部工事、(岩手県)羅賀高架橋上部工事、宮古3号橋、(宮城県)福室地区床版工事、旗沢橋上部工事、堤大橋上部工事、鹿又地区道路改良工事、新井田川橋上部工事他(山形県)中田高架橋床版工事、福宮こ道橋床版工事、下小瀬橋上部工事他、(福島県)湯川地区橋梁上部工事、月崎栗子跨道橋上部工事、熊屋敷橋上部工事、東楯橋床版工事

●部署/株式会社 長大 エコプロダクツ事業部 ●TEL/03-3532-8602 ●FAX/03-3532-8632 担当者:遠藤 敦、井田 一成
●URL/http://www.chodai.co.jp ●営業時間/9:00-18:00



地震減災を行いながら、地球温暖化緩和、林業再生に貢献する工法です

LP-LiC工法は、間伐材などの丸太を地下水位の浅い緩い砂地盤に地盤改良材として打設し、砂地盤を密実にする事で液状化対策を行う工法です。丸太を活用し工事を行うことで炭素を地中に貯蔵し、地震減災、地球温暖化緩和、森林・林業の活性化など、様々な効果を生み出します。木材は、地下水位以深では腐朽しません。液状化の発生しやすい地盤は地下水位が浅く緩い飽和した砂地盤ですので、本工法によって、恒久性・信頼性の高い液状化対策を行うことができます。また、大型重機を用いなくても施工が可能でプラント等の設備も不要なので、特に市街地・狭隘地での施工で、コストダウン・工期短縮を図ることができます。

●部署/飛鳥建設株式会社 技術研究所 ●TEL/04-7198-1101 ●FAX/04-7198-7586 担当者:筒井雅行
●URL/http://www.tobishima.co.jp ●営業時間/8:30-17:30

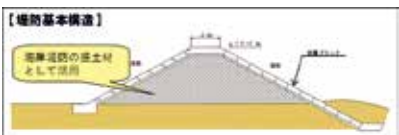


業界初! 産業廃棄物の委託契約情報とマニフェスト情報を連携

株式会社イーリバースドットコムは、ITの力で産業をサポートし、社会貢献・環境貢献を目指す企業です。その実践の形として、私たちはまず産業廃棄物管理の分野に着目。政府の推進する「電子マニフェスト制度」を大幅に使いやすくする電子マニフェストASPサービス[e-reverse.com]を開発しました。このサービスは、建設工事現場における産廃管理業務の負担を劇的に低減させ、建設業界シェアNo.1のご支持をいただいています。さらに、電子マニフェスト情報と連携して、電子委託契約ASPサービス[er-contract]をご利用頂くことができます。産業廃棄物関連の業務を一連で管理でき、コンプライアンスなどの面でも効果が大きく、大手ゼネコンなど多数の企業が採用しています。

●部署/営業企画グループ ●TEL/03-6402-8851 ●FAX/03-6402-8852 担当者:小濃 和佳子
●URL/http://www.e-reverse.com/ ●営業時間/9:00-18:00

東北地方建設副産物対策連絡協議会



建設副産物及び建設発生土のリサイクル推進

東北地方建設副産物対策連絡協議会では建設発生土や建設副産物の活用促進を図っており、建設副産物の排出量と再資源化量の動向及び災害廃棄物を防波堤ケーソンの中詰や海岸堤防の盛土材へ活用した等の事例を紹介いたします。

- 建設廃棄物
平成24年度の建設廃棄物の再資源化・縮減率は、97.3%と前回調査(平成20年度)より3.2ポイント向上。品目別にみると、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥が増加。
- 建設発生土
平成24年度の利用土砂の建設発生土利用率は80.4%と前回調査(平成20年度)より9.2ポイント向上。

●部署/東北地方整備局 企画部 技術管理課 ●TEL/022-225-2171(内線3315) 担当者:齋藤 昌宏

建設副産物・リサイクル等

技術番号
597 D-11

建設副産物リサイクル

建設副産物・リサイクル等

技術番号
597 D-11

**建設副産物リサイクル
広報推進会議**

建設副産物リサイクルの概要等について



建設副産物リサイクル広報推進会議は、国土交通省、都道府県、政令市等から構成される各地方建設副産物対策連絡協議会、建設業団体及び建設副産物処理業団体などの、関係機関が一体となって建設副産物のリサイクルに関する普及啓発活動を推進するため、平成4年5月に設立された団体です。

リサイクル推進月間(毎年10月)を中心にポスター、小冊子の作成、技術発表会、見学会、講習会の開催など、全国各地で多彩な活動を行っています。

●部署 / 建設副産物リサイクル広報推進会議(一般財団法人先端建設技術センター 企画部内) ●TEL / 03-3942-3991 ●FAX / 03-3942-0424
●URL / <http://www.suishinkaigi.jp/> ●営業時間 / 9:30-17:45 **担当者: 関根、新妻**

技術番号
598 D-12

再生クラッシャーラン製造工(脱着式)

建設副産物・リサイクル等

技術番号
598 D-12

**ARM協会事務局
株式会社 古垣建設**

バックホウ(山積0.8m³)アタッチメント式機械による再生クラッシャーラン製造工{コンクリート塊(有筋、無筋)、岩石}



小規模工事・仮置き場設定困難な工事等様々な現場で発生するコンクリート塊(有筋、無筋)、岩石を、現場内でバックホウ(山積0.8m³)1台と再生骨材製造機(バックホウアタッチメント)1台にて簡易に再生骨材とし、路盤材、基礎材、盛土材として現場内利用を図ることができる技術である。

【施工実績】東北地方整備局, 防衛省技術本部 下北試験場

●部署 / 株式会社 古垣建設 建機事業部 ●TEL / 0135-22-5578 ●FAX / 0135-22-5050
●URL / <http://furugaki.co.jp> ●営業時間 / 9:00-17:00 **担当者: 櫻庭 健**

技術番号
599 D-12

再生栗石製造工(脱着式)

建設副産物・リサイクル等

技術番号
599 D-12

**ARM協会事務局
株式会社 古垣建設**

コンクリート殻を栗石(150mm内外)とし、中詰石として利用



構造物取り壊し、コンクリート二次製品の撤去で発生するコンクリート塊を、現場内でバックホウ(山積0.8m³)1台と再生栗石製造機(バックホウアタッチメント)1台にて簡易に再生栗石(150mm内外)とし、ふとん箆、メッシュバック等の詰石や、ケーソンの中詰石として現場内利用を図ることができる技術です。これにより栗石の現場内調達が可能となりスピーディーかつ、低コスト、低排気での施工ができます。

【施工実績】東北地方整備局

●部署 / 株古垣建設 建機事業部 ●TEL / 0135-22-5578 ●FAX / 0135-22-5050
●URL / <http://furugaki.co.jp> ●営業時間 / 9:00-17:00 **担当者: 櫻庭 健**

技術番号
600 D-13

高耐久型セメント系木質舗装 ウッドクリート

建設副産物・リサイクル等

技術番号
600 D-13

株式会社佐藤渡辺 東北支店

**災害廃棄物の再生利用可能
耐久性があり、適度な硬さで歩きやすい木質舗装**



ウッドクリートは、建設発生木材や間伐材からなるウッドチップを使用し、セメントを結合材とした木質舗装です。初期養生後、表面を洗い出すことにより木のもつ風合いを活かした仕上がりになります。

- サイズ等によっては、災害廃棄物の利用が可能です。
- セメントを使用しており微生物による腐朽劣化が起こりにくく耐久性に優れます。
- 他の木質舗装に比べ路面温度が10℃~20℃低くなります。
- 秋田県認定リサイクル製品

【施工実績】東北地方で57,000m²以上

●部署 / 東北支店 営業部 ●TEL / 022-261-8761 ●FAX / 022-262-8496
●URL / <http://www.watanabesato.co.jp/> ●営業時間 / 8:30-17:30 **担当者: 高畑一幸、五十嵐裕治**

株式会社佐藤渡辺 東北支店



**産業廃棄物の有効利用
ホタテ貝殻を再生利用したアスファルト舗装**

産業廃棄物として排出され、処理に苦慮しているホタテの貝殻を再資源化し、アスファルト混合物の骨材の一部として再生利用したアスファルト舗装です。舗装構成や施工方法、品質は従来のアスファルト舗装と同じで、供用後ホタテ貝殻(骨材)が露出され視認性が向上。外観的にも優れています。(施工直後ショットブラスト仕上げを行うことも可能)
□青森県認定リサイクル製品

【施工実績】東北地方で30,000m以上

●部署/東北支店 営業部
●URL/http://www.watanabesato.co.jp/

●TEL/022-261-8761 ●FAX/022-262-8496
●営業時間/8:30-17:30

担当者: 高畑一幸、五十嵐裕治

株式会社佐藤渡辺 東北支店



舗装表面のグルーピング溝にゴムパウダを付着させて、路面の氷板・圧雪を剥離させ路面凍結を抑制する工法

ゴムパウダ型凍結抑制舗装は、新設や既設のアスファルト舗装を対象に、舗装路面の縦方向にグルーピングを施し、この溝に廃タイヤを再資源化したゴムパウダ(0.3mm以下)をプライマーで付着させる構造です。この構造の特長は、路面に弾力のある層をつくり通行車両の荷重によって路面に付着した氷板・圧雪を剥離させることができます。これによって、積雪寒冷地の冬期の車道において、路面の凍結が抑制され通行車両の安全性が向上します。この効果は、車両の交通量が多い道路ほど期待できます。なお、わだち掘れ量が10mm以上、ひび割れ率15%を超える既設のアスファルト舗装には適用できません。
※融雪効果のある工法ではありません。

【施工実績】岩手県気仙郡住田町

●部署/東北支店 営業部
●URL/http://www.watanabesato.co.jp/

●TEL/022-261-8761 ●FAX/022-262-8496
●営業時間/8:30-17:30

担当者: 高畑一幸、五十嵐裕治

大森建設株式会社・能代中央生コン株式会社・秋田高専



IWA 骨材を使ったリミックスコンの打設

コンクリートとして使用が可能なセメント系高規格流動材「リサイクル技術を活用し低価格への挑戦」

リミックスコンは、生コンクリート施工において大きな問題となっていた「戻りコンクリート」や「スラッジ」を再利用して製造されるコンクリートの代替材料です。戻りコンクリートやスラッジに特殊な改質剤を添加して造粒した骨材の全量を再利用し、産業廃棄物の大幅減量、CO₂排出抑制などの環境性能を發揮します。当技術は、「元気な生コンネットワーク:GNN」で全国的に実績を有する「戻りコンクリートから骨材を造粒しコンクリート代替製品を製造する技術」を基本に、生コンクリート工場で発生するスラッジをも再利用し、均しコンクリート用途等に生コンクリート代替品を安価で提供します。

【施工実績】能代FRC有限責任事業組合 リサイクルセンター建設工事
秋田県能代市 均しコンクリート用途 20m³

●部署/大森建設株式会社 技術営業部
●URL/http://www.om346.co.jp

●TEL/0185-55-1525 ●FAX/0185-55-2288
●営業時間/8:00-17:00

担当者: 石井昭浩、児玉亮太

RMPC研究会



コンクリートガラから製造した再生粗骨材Mおよびそれを用いたPCa製品

再生粗骨材Mをプレキャストコンクリートに限定利用すれば、寒冷地でも利用可能

本製品は簡易的破砕機で製造し、耐凍性を有する再生粗骨材Mとアルカリシリカ反応対策として混合セメントを併用したプレキャストコンクリート製品であり、路面排水溝類への利用を可能にした。これにより、現在、地下構造物のみに限定されている再生粗骨材Mが普通製品へ利用可能となる。

●部署/RMPC研究会 事務局
●URL/http://www.rmpec-ac.org

●TEL/022-267-1551 ●FAX/022-267-1551

担当者: 事務局 只野 辰夫

技術番号
605 D-15

リサイクル材を用いた放射線遮蔽Box

建設副産物・リサイクル等

技術番号
605 D-15

RMPC研究会

遮蔽コンクリートBOX



ICタグによりデータ保管

普通コンクリートBoxに比べ遮蔽率が高く低コストで製造可能

今回開発したコンクリートBoxは、ブラウン管ガラス、銅スラグおよびフェロニッケルスラグを骨材として用いることで、遮蔽率を高めたコンクリートである。また、基本Boxはクレーン車で持ち運び可能なこと、防水処理およびICタグを埋め込みトレーサビリティが可能なように工夫されている。

●部署 / RMPC研究会 事務局
●URL / <http://www.rmpec-ac.org>

●TEL / 022-267-1551 ●FAX / 022-267-1551

担当者：事務局 只野 辰夫

技術番号
606 D-16,H-23

自走式土質改良機・リテラBZ210

建設副産物・リサイクル等

技術番号
606 D-16,H-23

株式会社イマギレ



自走式土質改良機リテラBZ210は「NETIS」において「平成23年度推奨技術」に選定されました。

- 技術の概要:本技術は現場内での安定処理工等において、固化剤を原料土に均質に混合できるので、固化剤使用量縮減、工期短縮や改良品質の向上が期待できます。また、粉塵発生も抑制され、周辺環境への影響抑制も期待できます。従来はバックホウ混合が一般的です。
- 適用分野:◇道路(路体盛土・路床盛土等)◇基礎地盤改良 ◇工作物埋め戻し ◇下水道 ◇河川改修 ◇河川築堤 ◇砂防(砂防CSG) ◇災害復旧 ◇港湾 ◇汚染土壌対策 ◇ストックヤードでの土質改良 他

【施工実績】大芦南地区道路改良工事
玉山地区道路改良舗装工事
芋田地区道路改良舗装工事他多数

●部署 / 株式会社イマギレ 東北支店
●URL / <http://www.imagiire.co.jp>

●TEL / 022-266-1271 ●FAX / 022-266-1272
●営業時間 / 8:00-17:00

担当者：樋口・中居

技術番号
607 D-16,H-23

自走式破砕機・ガラパゴスBR380JG

建設副産物・リサイクル等

技術番号
607 D-16,H-23

株式会社イマギレ



自走式破砕機ガラパゴスBR380JGは複数現場で採用されNETISを卒業しました。

- 技術の概要:本技術は現場内での「破砕作業」において、コマツオリジナルの全自動油圧式ジョークラッシャーを搭載しにより、異物混入時に課題となっていたダウンタイムの画期的な短縮を図っています。
- 適用分野:◇土工(運搬工・埋め戻し) ◇破砕工 ◇災害復旧 ◇港湾 ◇ダム提体土工事 ◇ストックヤード維持 等

【施工実績】南三陸西地区舗装工事
鳴瀬川中下北区護岸工事
大浦漁港災害復旧工事
陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務他多数

●部署 / 株式会社イマギレ 東北支店
●URL / <http://www.imagiire.co.jp>

●TEL / 022-266-1271 ●FAX / 022-266-1272
●営業時間 / 8:00-17:00

担当者：樋口・中居

技術番号
608 D-16,H-23

自走式ベルコン・ラントパスBM2009C

建設副産物・リサイクル等

技術番号
608 D-16,H-23

株式会社イマギレ



現場内運搬コストの削減を実現させる自走式20mロングベルトコンベア【ラントパスBM2009C】

- 技術の概要:本技術は現場内での「土砂の横持ち作業」や「リテラ・ガラパゴス等の成果品掻揚作業」あるいは「側溝等障害物を越えての土砂の運搬作業」において、ダンブおよびバックホウの台数を縮減が期待できます。また、自走式であるため、作業現場の状況に合わせた設置が可能です。
- 適用分野:◇土工(運搬工・埋め戻し) ◇土質改良工 ◇破砕工 ◇災害復旧 ◇港湾 ◇ダム提体土工事 ◇ストックヤード維持 等

【施工実績】岩手県 大槌地区災害廃棄物破砕・選別等業務

●部署 / 株式会社イマギレ 東北支店
●URL / <http://www.imagiire.co.jp>

●TEL / 022-266-1271 ●FAX / 022-266-1272
●営業時間 / 8:00-17:00

担当者：樋口・中居

技術番号 **609** ブース番号 **D-17**

簡易路上表層再生工法『ヒートドレッシング工法』

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **609** ブース番号 **D-17**



傷んだ路面をリフレッシュ!低コストと環境負荷低減を目指した路上再生型の路面維持工法

『ヒートドレッシング工法』は、簡易な路上表層再生工法で、ひび割れや段差などで路面性状が低下した舗装を補修し、走行性を改善することが出来ます。

- 『ヒートドレッシング工法』は、
- ① 軽度のひび割れやわずらな掘れを解消し、水はねや車両の走行性を改善します。
 - ② ひび割れからの雨水の浸透を防ぎ、舗装の延命に有効です。
 - ③ 既設アスファルト舗装を現位置で再利用でき、新規材の使用量を減らすことで環境負荷の低減につながります。

【施工実績】宮城県栗原市花山字本沢温湯地内(国道398号)、宮城県栗原市一迫真坂字下川原地内(国道398号、県道花山一迫線)、山形県酒田市福岡地内(市道福岡落合線)、山形県酒田市砂越地内(農道砂越線)、山形県西置賜郡飯豊町(町道椿中線)

●部署/東北支店 技術部
●URL/http://www.fukudaroad.co.jp

●TEL/022-722-0121 ●FAX/022-722-0120
●営業時間/8:30-17:30

担当者:本間 悟

技術番号 **610** ブース番号 **D-18**

自走式電気制御連続改良装置

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **610** ブース番号 **D-18**

SSB協会



自走式の浚渫・汚泥・汚染土の軟弱土の連続改良装置。

原料土を連続的に重量計測し、原料土の重量に比例した改良材を自動的に連続添加を行い、4軸縦型ミキサー羽根で混合攪拌・改良する装置。自走式に搭載したエンジンで発電機を駆動し、品質管理、混合調整が容易な電気運転・制御方式と液晶画面の採用で監視、制御を容易にしたシステム。

●部署/SSB協会 本部(担当 専務理事 中村志郎) ●TEL/03-3485-2887(携帯 090-1654-5255)
●FAX/03-3485-2887(代表電話と自動切替) ●E-mail/qqp6nsd@fork.ocn.ne.jp ●営業時間/9:00-17:00

担当者:SSB協会 本部(担当 専務理事 中村志郎)

技術番号 **611** ブース番号 **D-19**

オゾンマイクロバブルを用いた油・VOCの浄化技術

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **611** ブース番号 **D-19**



オゾンマイクロバブルを利用して油やVOCを速やかに分解

本技術は、オゾンマイクロバブルを用いて油や揮発性有機化合物(VOC)のような汚染物質を酸化分解するものです。これまで、機械油やC重油のような油分は分解が難しく産廃処分されていましたが、オゾンマイクロバブルを利用することで効率的に分解が可能になりました。また、ベンゼンやトリクロロエチレンといったVOCに対しても高速分解が可能です。

酸化分解に利用するOHラジカルやオゾンは短時間で水や酸素に変化するため、残留物質や副産物が生じません。さらに、オゾンの発生には薬品を使用しないため、薬品費や薬品由来の汚泥処分費等のランニングコストが低減できます。

●部署/土木本部 土木統括部 環境技術室

●TEL/06-6625-3764

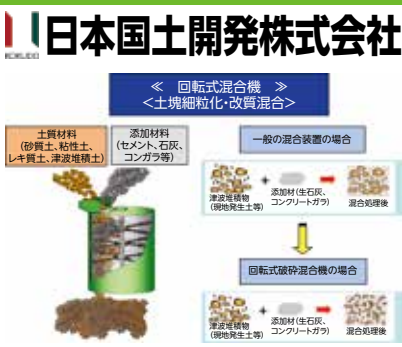
担当者:小河篤史

技術番号 **612** ブース番号 **D-20**

回転式破碎混合機による建設発生土リサイクル技術

建設副産物・リサイクル等

技術番号 **612** ブース番号 **D-20**



本技術は高含水比やレキ混じりの建設発生土を浸透や浸食に強い安定した盛土材に改良する技術です

回転式破碎混合工法は、円筒内で高速回転する複数本のフレキシブルなチェーンの打撃力で、2種類ないしは3種類の建設発生土を破碎・細粒化(破碎)すると共に、均一に分散させることによって破碎と混合とを同時に行うことが可能な工法です。本工法は優れた混合性能と破碎、解砕性能を有しているため、粘性土から岩石までの幅広い地盤材料の混合が可能です。また土砂を団粒化させずに解きほぐすことで、土砂に混入した地下莖やガレキを分離し効率よく分別することができます。必要に応じてコンクリートガラや土壌改良材、土壌浄化剤(不溶化)等を添加、混合処理することで建設資材としての活用が可能となります。

【施工実績】七ヶ浜町農地災害廃棄物撤去(その4)工事
釜石市災害廃棄物処理事業(混合廃棄物処理)津波堆積物改質処理
石巻ブロック災害廃棄物処理業務のうち高含水津波堆積物処理業務

●部署/日本国土開発株式会社 土木本部 土木部、日本国土開発株式会社 東北支店 土木部 ●TEL/本社 03-3403-3311、東北支店 022-262-2105
●FAX/022-268-0722 ●URL/http://www.n-kokudo.co.jp/soil_environment/index.html ●営業時間/8:30-17:00

担当者:本社土木本部 大坪研二、東日本支社 技術営業部 山本 仁

建設副産物・リサイクル等

技術番号
613 ブース番号
D-21

JWNET 電子マニフェストシステム

建設副産物・リサイクル等

技術番号
613 ブース番号
D-21

JWNET 電子マニフェスト

マニフェスト情報を電子化し、簡単・確実に産業廃棄物処理の流れを管理するシステム



産業廃棄物の処理の流れを管理するマニフェスト情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターを介したネットワークでやり取りすることで、適正処理を確保するシステムです。

マニフェスト情報が電子化されていることにより、紙マニフェストをやり取りする場合と比べて事務処理の簡素化を図り、法令順守を徹底することができます。

また、操作も簡単で、インターネットにつながったパソコンがあれば導入も容易です。

【東北6県の加入件数】(平成27年3月末現在)

排出事業者:4,307、収集運搬業者:894、処分業者:618、合計:5,819

●部署/公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター 業務推進部 ●TEL/0800-800-9023 ●FAX/03-5275-7112
●URL/http://www.jwnet.or.jp/jwnet/ ●営業時間/9:00-17:00

担当者: 鶴島

技術番号
614 ブース番号
D-22

パンク関連経費を80%~90%削減するパンク防止剤ドリームシール

建設副産物・リサイクル等

技術番号
614 ブース番号
D-22

ドリームサポート有限会社

パンク関連経費を80%~90%削減・パンクする前に、タイヤ内にコンバットを注入する事で太さ12mm~25mmの異物突き刺しパンク防止を実現



パンク対策と言えばウレタンタイヤとオールゴムタイヤですが、近年、採用する事でデフの故障や身体の悪影響等で建機メーカーも問題を啓発する事となり、パンク防止剤ドリームシールが目されるようになりました。予め、タイヤ内にゼリー状の水溶性建機タイヤ用ドリームシールコンバットを注入する事で、太さ12mm~25mmの異物突き刺しパンク防止を実現し、パンク関連経費を80%~90%削減します。さらに、自然空気漏れと冷却効果の相乗作用でタイヤ寿命延長し、パンク対策と併せて廃棄タイヤの削減も実現します。ブース内では、実際にデモタイヤに千枚通しを刺して、パンクが止まるメカニズムが確認できます。

【施工実績】株式会社木村土建(宮城県) 株式会社竹内組(青森県)他多く建設機械販売会社を通じて東北全県で使用されています。

●部署/ドリームサポート有限会社 営業部 藤岡 ●TEL/090-8711-7373 ●FAX/082-838-3924
●URL/http://www.dream-support.com ●営業時間/9:00-17:00

担当者: 藤岡信也

技術番号
615 ブース番号
E-01

回収資源再利用 ヨドクリスタルグレーチング

建設副産物・リサイクル等

技術番号
615 ブース番号
E-01

ヨドコウ 株式会社 淀川製鋼所

回収資源を再利用した環境にやさしく、デザイン性の高いグレーチングです。



一般家庭などから回収した廃ガラスびん、陶磁器を粉碎してエッジレス加工を施し、充填しました。

しっかり色分けをしていますので、鮮やかな色彩でデザイン性が高くなっています。

充填材の厚みが15ミリありますので、いつまでも美観を保ちます。

充填されている部分は水が溜まらず、透水性に優れています。

充填されていない部分は従来のグレーチングと同様、排水性に優れています。

【施工実績】おもにリサイクルを推進されていたり、景観に重点をおかれる担当役所で採用。

●部署/株式会社淀川製鋼所 東京支社 グレーチング部 ●TEL/03-3551-1178 ●FAX/03-3551-5296
●URL/http://www.yodograting.jp/index.html ●営業時間/9:00-17:35

担当者: 野村、伊藤、山本、指吸、関口、児玉、東口

技術番号
616 ブース番号
E-11

残コン碎石専用材

建設副産物・リサイクル等

技術番号
616 ブース番号
E-11

株式会社グロースパートナーズ/ 有限会社丸中建設

戻りコンやスラッジと混合すると瞬時にパラパラになります。戻りコンの改良物は再利用可能です。



「残コン碎石専用材」は、印刷工場や出版工場で発生する副産物(紙粉や紙片など)やシュレッダー屑などから製造しております。古紙の主成分であるセルロースが、戻りコンの水分を吸水いたします。現場で余った生コンが、瞬時に路体材や路床材として活用できます。ポンプ車に残ってしまう生コン対策や、繊維コンクリートの繊維を分離させることも可能です。

【施工実績】ポンプ車に残っている生コン処理

●部署/株式会社グロースパートナーズ 営業部 ●TEL/03-3524-1134 ●FAX/03-6369-3805
●URL/http://gpgo.tokyo/ ●営業時間/9:00-18:00

担当者: 土井・今野

建設副産物・リサイクル等

技術番号
617

ブース番号
E-13

土壌・地下水汚染調査・対策

建設副産物・リサイクル等

技術番号
617

ブース番号
E-13

三井住建道路株式会社



土壌・地下水汚染等に関する問題やお悩みをご相談ください。

土壌汚染は、水や大気汚染とは異なり、汚染自体の移動が遅く蓄積性の汚染であることから『負の遺産』とも呼ばれています。そのため、企業が所有する工場や不動産において大きなリスクとなることから、近年関心が高まってきています。当社は、環境省より土壌汚染対策法に基づく指定調査機関として指定を受けており、土壌地下水汚染の調査から、浄化対策や行政対応に至るまで、当社の調査・浄化ネットワークを活用しサポートいたします。

●部署／三井住建道路株式会社 東北支店 営業部
●URL／<http://www.smc.co.jp>

●TEL／022-227-2241 ●FAX／022-227-4911

担当者：早坂順・林政子

技術番号
618

ブース番号
G-10

鉄鋼スラグによるRC材からの六価クロム低減法

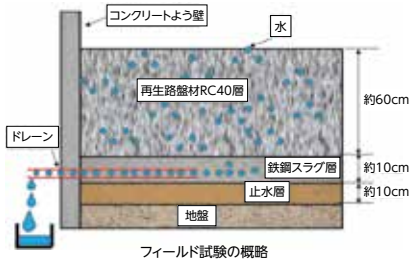
建設副産物・リサイクル等

技術番号
618

ブース番号
G-10

宮城大学 食産業学部 環境システム学科

鉄鋼スラグの還元力を利用し、東日本大震災のコンクリートがらを安全に利活用するための技術



東日本大震災により発生した膨大な災害廃棄物のうち、最も発生量の多い廃棄物はコンクリートがらである。その多くはコンクリート再生材として加工され、下層路盤材としての利用を想定されているが、セメント由来の六価クロム溶出が危惧されており、その対策を講じる必要がある。一般に重金属の溶出対策は、薬剤や固化材による不溶化対策であるが、六価クロムについては、無害な三価クロムに還元出来れば規制対象から外れることになる。そこで、鉄鋼スラグ(高炉スラグおよび製鋼スラグ)の還元力によりコンクリートがらを安全な下層路盤材として利活用する。

●部署／宮城大学食産業学環境システム学科

●TEL／022-245-1426

担当者：北辻政文

技術番号
619

ブース番号
G-15

環境調和型機械施工システム

建設副産物・リサイクル等

技術番号
619

ブース番号
G-15

東北大学・大学院環境科学研究所・高橋(弘)研究室

建設副産物の環境調和型リサイクル処理システムと環境ジオメカトロニクス



本研究室では、環境調和型機械施工システムの創成を目指し、建設副産物の新しいリサイクル処理技術の開発と環境地盤工学への新たな展開について検討しています。さらに環境調和型機械施工システムの開発に関する研究を行っています。具体的には、次のようなテーマで研究を進めています。

- ①高含水比泥土のリサイクル処理技術(繊維質固化処理土工法)の開発と環境問題への応用(堤防補強盛土、緑化基盤材の作成)
- ②津波堆積物の再資源化による人工地盤造成
- ③土質改良機・モービルクラッシャーなどの環境対応建機の高機能化・知能化
- ④地盤調査用小口径自在掘進機械の開発
- ⑤粘性土と金属材料の付着メカニズムの解明と建機への応用
- ⑥平刃掘削による表層地盤強度定数の推定方法の開発

【施工実績】名取市広浦湾における津波堆積物・ヘドロの再資源化に関する試験施工
砂押川浚渫土の再資源化 高城川浚渫土の再資源化

●部署／高橋(弘)研究室
●URL／<http://www2.kankyo.tohoku.ac.jp/htaka/index.html>

●TEL／022-795-7394

●FAX／022-795-7395

●営業時間／9:00-18:00

担当者：教授 高橋 弘、助教 里見 知昭